

仮設

あるヒト

ヒスロム 仮設するヒト
hyslom temporary human

会 11月3日(土) から
期 12月28日(金)
*11月22日は休館

公開時間: 11時から20時
*12月21日から28日はイベントのため
終了時間が変更になります
会場: せんだいメディアテーク
6階ギャラリー4200
入場料: 一般500円(高校生以下無料)

November 3 - December 28, 2018
*Closed on November 22
Opening hours: 11:00 - 20:00
*The end time will be changed from December 21 to 28
Venue: sendai mediatheque 6F Gallery 4200
Admission: 500 yen
(Free for high school students and young children)

Documentation of Hysteresis(DOH) 2009年～

山崎実地舎へと変わりつつある場所を定期的に訪れ、探検しながら身体で空間を把握するように
におこなわれる。さまざまなパフォーマンス・アクション、ヒスロムの活動の拠点であり、DOHの経
緯からいくつかのプロジェクトが発生している。

Big one-パイプ 2012年～

DOHで発見したトンネルなどの地下空間での身体感覚をもとに始められた直径1.5m、長さ
4.8mのパイプ状のオブジェクトの制作プロジェクト。パイプの外周には複数のパズルの取り付け
られており、内部にはいつか転がすなどパフォーマンスのツールとしても用いられる。

鳩 2012年～

Big One-パイプ制作のために借りたアトリエの大家さんを通じて、レース場の文化に出会い、
「ヒスロム増舎」として大会への参加やワークショップなどの活動をおこなうほか、全国の場
合を訪れ調査している。

リタリエイト 2012年～

DOHで発見した造成工事に用いられるさまざまなモノや、造成過程の構造物を再現制作する
プロジェクト。

昆虫さん 2012年～

DOHで出会った昆虫探検を題材とする男性「昆虫さん」に成るうと、昆虫の探検や標本づくり
をとおして、土地やそこに生きる生命を体験的に理解するプロジェクト。

Oged Wood Family(GWF) 2013年～

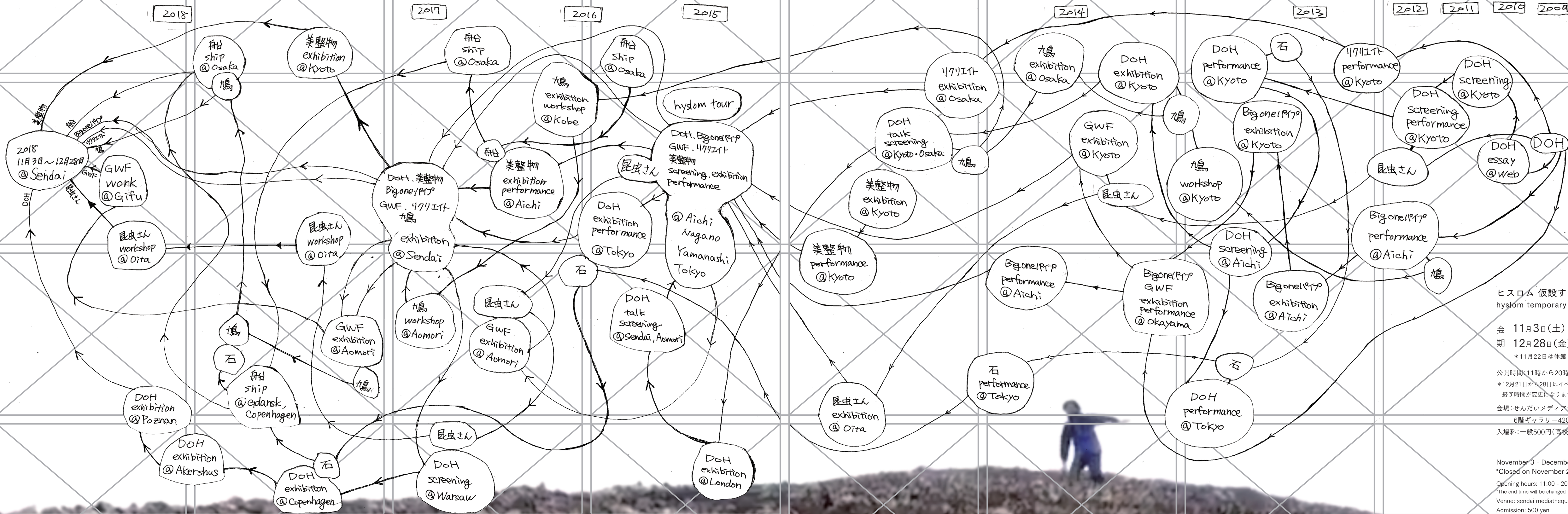
DOHで出会った人「昆虫さん」から聞いた「いい木」のエピソードに触発され、造成で伐採されて
いく木を用いて、木と身体をなじませるさまざまなパフォーマンスなどの作業を実施し、記憶の
宿った「いい木」を作り出すプロジェクト。

石 2013年～

京都の鴨川で出会った大きな石を用いたパフォーマンス。石は使用後に同じ場所に返し、南無地
でのパフォーマンス実施の場合も、同時に回収・運搬・運送した。雨による増水の間に石は失われ
たが、今後も石と身体で関わる活動を継続する。

美整物 2014年～

京都で出会った理容師から聞いた「美整」の理念(パーマや染髪はしない、必要がなければ髪を切
らない、その人本来の髪にむけて整える)をもとに、友人宅の古いはなれの解体と施工など一連の
作業に関わり、その過程を映像に記録している。



ヒスロム 仮設するヒト

hyslom temporary human

会期:11月3日(土)から12月28日(金) *11月22日は休館

November 3 - December 28, 2018

公開時間:11時から20時 Opening hours: 11:00 - 20:00

*12月21日から28日はイベントのため終了時間が変更になります *The end time will be changed from December 21 to 28

会場:せんだいメディアテーク 6階ギャラリー4200 Venue: sendai mediatheque 6F Gallery 4200

入場料:一般500円(高校生以下無料) Admission: 500 yen (Free for high school students and young children)

本展は、国内外から注目を集めるアーティストグループ「ヒスロム」の表現活動を紹介する国内初の大規模な展覧会です。ヒスロムは、加藤至、星野文紀、吉田祐の3人によって構成され、「フィールドプレイ」と称した身体によるアクションを各地でおこなっています。野外を中心とした彼らの活動は、失われた土地と身体との接点を再び見出そうとしているかのようにみえます。あるいは、おおむね所有され管理されたこの社会のなかで、何にも属さない未知の空き地を探す行為のようでもあります。このようなヒスロムの表現は、わたしたちが自らを規定する近代的な人間像を解体し、この世界に存在することへの前向きな意思をこめて、

一時的で仮設的なヒトのあり方を示していると捉えられるのではないのでしょうか。

ヒスロムは今回、映像や立体など多様な記録物によって、およそ10年にわたる活動を総覧させるとともに、展示空間全体をひとつの作品としてつくりあげます。1000㎡の空間を使って展示されるのは、ヒスロム自身による巨大なアーカイブであり、せんだいメディアテークの理念や空間との対話によって生み出された一回性のインスタレーションでもあります。

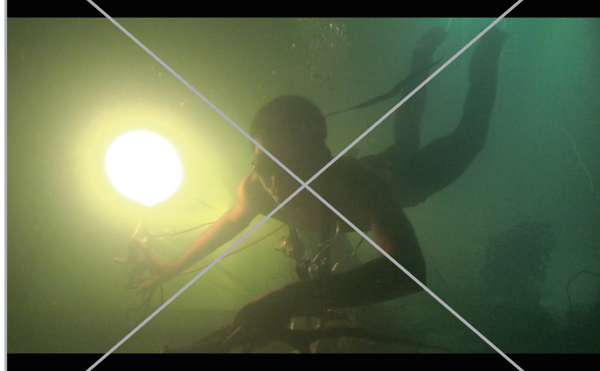
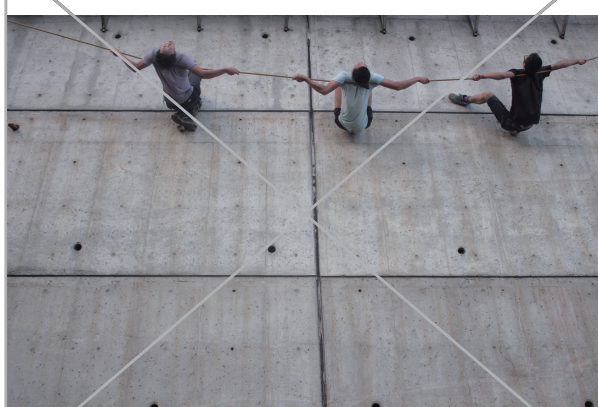
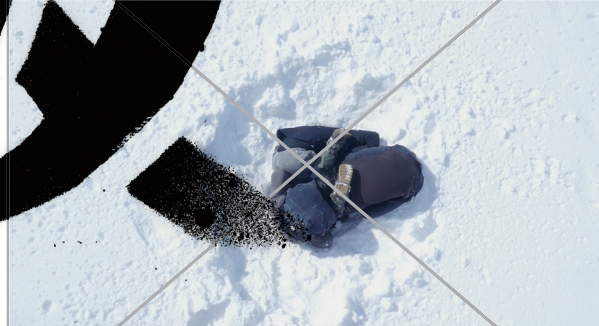
本展では、これらのヒスロムの活動をととして、まもなく終わる平成期を振り返りながら、次なる時代にむけた展覧会のかたちを試行します。

ヒスロム/hyslom

加藤至、星野文紀、吉田祐によるアートグループ。2009年から活動をはじめる。人や文化との出会いをもとに、身体を用いた行為「フィールドプレイ」を各地で実施し、映像や写真、パフォーマンス作品としてあらわしている。hyslomという名称は、物理学用語のhysteresis(ヒステリシス)をもとにしたもの。近年の展覧会に「東アジア文化都市2017 京都 ―アジア回廊― 現代美術展」(2017年、二条城、京都芸術センター)、「青森EARTHアウトリーチ 立ち上がる風景」(2017年、青森県立美術館)、「Assembridge NAGOYA 2016 現代美術展 パノラマ庭園―動的生態系にするす」(2016年、MAT,Nagoya)、「Exhibition as media 2015-2016 新シク開イタ地―What is land?」(2016年、神戸アートビレージセンター)など。

「平成30年度京都市芸術文化特別奨励者」に認定された。

*ヒステリシス(履歴現象):モノやシステムの状態が、現在加えられている力だけでなく過去に加わった力にも依存して変化すること。



■関連イベント

○ギャラリーツアー

メディアテークの学芸員や展示作家と一緒に展覧会を観るツアーです。

11月3日(土)、11月17日(土)、12月8日(土)

各日14時から16時

申込み不要、展覧会チケット(当日分)の半券提示が必要です。開始時間前に6階ギャラリー入口にお集まりください。11月3日は展示作家のヒスロムが参加します。

○ヒスロムによる「作業」

ヒスロムが会場内で展示物や展示空間を用いたアクション・パフォーマンス「作業」を行います。

*12月21日(金)~12月26日(水)

各日19時から19時45分

*12月27日(木)~12月28日(金)

両日18時から19時45分

申込み不要、30人程度、展覧会チケット(当日分)の半券提示が必要です。12月21日から28日は、上記のとおり展示公開時間を切り上げて実施します。

■関連出版物のご案内

○ヒスロム活動記録書籍(2018年12月刊行予定)

これまでのヒスロムの活動をまとめた記録集。展示作品の写真も掲載。T & M Projectsから発売。(展覧会場でも販売します)

問い合わせ

せんだいメディアテーク企画・活動支援室

住所:〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1

TEL: 022-713-4483 FAX: 022-713-4482

sendai mediatheque

2-1 kasuga-machi, aoba-ku, sendai-shi, miyagi-ken, 980-0821

tel:+81-22-713-4483 / fax:+81-22-713-4482

https://www.smt.jp

smt せんだいメディアテーク sendai mediatheque

このチラシはリサイクルできます。